

# 諏訪共立病院での療養病床 15 床増床の概要計画報告について

2020/1/24

社会医療法人 南信勤労者医療協会

諏訪共立病院

院長 岩間智

## 1. 増床理由

当院の病棟はサブアキュート・ポストアキュートの患者さんの受け入れが中心となっています。「夜間も吸痰が必要で施設や自宅へ帰れない」「血液透析をしているが全介助のため通院困難」等により退院先が見つからず長期入院を余儀なくされる患者さんが少なからず存在し、療養病床の必要性を痛感しています。このような地域の医療要求のなかで、当院では病院リニューアルの3年後を目標に療養病床 15 床増床を検討中です。

## 2. 病院リニューアル後の病棟体制

リニューアル後は一般病棟を 56 床から 43 床（うち地域包括ケア病床 12 床）に減らし、回復期リハビリテーション病棟 54 床、新設の療養病棟 28 床の 3 病棟 125 床（リニューアル前 2 病棟 110 床）を検討しています。

## 3. 一般病棟退院後の状況について

療養病床への転院ができずに、介護施設や在宅へ退院後、2 週間以内に再入院される患者さんが 2018 年度 21 名、2019 年度 15 名います。また転院にあたり、様々な理由で転院不可と判断して、転院相談せずに 90 日超えても入院継続した患者さんが 2018 年度と 2019 年度で 11 名います。